（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和 6 年 10月 30日（水曜日） 8時 50分頃						天候	曇		
災害の程度	死亡 名		負傷 1名		職種 伐採作業員		年令 30才		経験年数12年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　名］ 伐採作業中 裂けあがりが発生し樹木が左足脛部に激突し受傷。

［作業内容］ 伐採

［発生状況］

8：50頃　伐採（ブナの木）作業中，裂けあがりが発生し被災者側に滑り落ちた樹木が左足脛部に激突し受傷した。

班長と作業員１名は，被災者を安静に出来る場所へ担架で移動させ，作業員１名が救急要請のため電波が通じる場所へ下山を開始した。

12：10頃　被災者は，ドクターヘリで○○県○○病院に搬送された。

［被災程度］

左脛骨腓骨骨幹部開放骨折　約２週間の入院治療

［服装・装備］

安全帽，作業服上下，フェイスガード，イヤーマフ，チャプス，スパイク付長靴（伐採用）

防振手袋

原因及び対策

［発生原因］

1．現場代理人は乗込み時教育や現場において，樹木の裂け上がりについて強く周知しなかった。

2．広葉樹であることは確認していたが，裂けやすい樹木であることについて作業責任者または班長が指導・注意しなかった。

3．被災者は，裂けやすい樹木で大径木であるにもかかわらず芯切りをしなかった。

4．広葉樹が裂け上がりやすい樹木との認識はあったが，実際に裂け上がるとは思っていなかったので，裂け上がり防止用のロープ等の巻き付けをしなかった。

［再発防止対策］

1．作業責任者および班長はTBM-KY-R実施時，作業状況にあわせた危険要因の抽出をするよう指導し全員で工法を検討後，対策をたててから作業を開始する。

2．大径木（直径50cm以上）の追い口位置にチョーク等で印をつけ高さのずれがないかチェンソー操作者と班長の二人で確認する。

3．大径木（直径50cm以上）の樹木を伐倒する場合には，裂け防止のため芯切りをする。

4．広葉樹は裂けやすい事を再確認し，30cm以上の広葉樹には裂け上がり防止用ロープ等を確実に巻き付け，裂け上がりを防止する。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

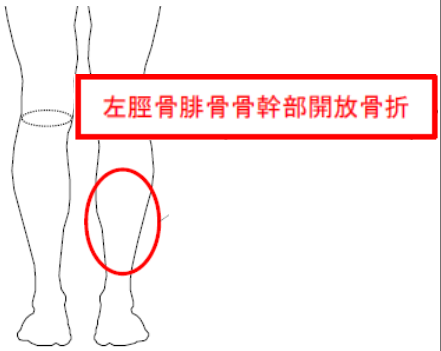
（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況

状況写真（再現）

①追い口を入れた際，樹木（ブナの木）が伐倒方向に倒れ始めたと同時に裂けあがりが発生。



②伐倒方向と反対方向に樹木が滑り落ち，被災者の左足脛部に激突した。

③左足脛部に激突後，滑り落ちた樹木が回転し谷側へ転がり落ちた。